

TCM

東京音楽大学 シンフォニーオーケストラ 定期演奏会

Tokyo College of Music Symphony Orchestra

指揮：現田 茂夫 Shigeo Genda

ホルン：吉田 智就 Tomonari Yoshida

演奏：東京音楽大学シンフォニーオーケストラ Tokyo College of Music Symphony Orchestra

©K.Miura



2023年12月5日(火)

東京芸術劇場 コンサートホール

18:30 開演 17:30 ロビー開場 17:45 開場

全席指定 1,500円

G. プッチーニ／交響的奇想曲

R.M. グリエール／ホルン協奏曲 変ロ長調 作品 91

S. ラフマニノフ／交響曲 第2番 ホ短調 作品 27

当公演は、後日、東京音楽大学演奏会情報チャンネルにて動画配信の予定です。

東京音楽大学
演奏会
情報チャンネル



チケット取扱：2023年10月2日(月) 10:00より一般予約受付開始

東京音楽大学チケットサイト <https://www.s2.e-get.jp/TCM/pt/>

※発券の際、1枚ごとに事務手数料385円(消費税含む)がチケット代金とは別途かかりますので、ご了承ください。
※在学生は、本学より付与されている会員アカウントをご利用ください。
※やむを得ぬ理由により、出演者、曲目等変更の可能性がございますので、ご了承ください。
※乳幼児のご入場はご遠慮ください。また、車椅子をご利用の方は演奏課までお問い合わせください。

- ・東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296
- ・チケットぴあ
- ・学校でご利用の場合は東京音楽大学演奏課 ticket@tokyo-ondai.ac.jp にお問い合わせください。

東京音楽大学
チケットサイト



本公演は新型コロナウイルス感染拡大を受け、対策を講じて行います。
詳細はチラシ裏面及び本学チケットサイトをご覧ください。

【主催】東京音楽大学 【後援】豊島区

【会場案内】東京芸術劇場 豊島区西池袋1-8-1 <https://www.geigeki.jp/> 池袋駅 (JR / 東京メトロ / 東武東上線 / 西武池袋線) 下車、西口地下通路2b 出口直結



©K.Miura

指揮 現田 茂夫 Shigeo Genda, Conductor

1959年東京生まれ。9才よりオーケストラの中でチェロを学び、清水勝雄氏に師事。高校在学中に指揮者を志し、金子登氏に指揮の手ほどきを受ける。1979年東京音楽大学指揮専攻に入学。汐澤安彦、三石精一両氏に師事。その後1982年東京芸術大学指揮専攻に入学。佐藤功太郎、遠藤雅古両氏に師事。1986年東京二期会のオペラ「ヘンゼルとグレーテル」でデビュー。1987年大学卒業と同時に新星日本交響楽団の指揮者に就任。ドレスデンフィル、スロヴァキアフィル、プラハ交響楽団、サンレモ交響楽団等に客演し、コンサート、オペラ両面で活動を続ける。1994年のプラハの春での佐藤しのぶコンサートは全ヨーロッパで放映された。国内のオーケストラにも精力的に客演し、1996年神奈川フィルハーモニー管弦楽団指揮者に、2000年常任指揮者、2009年より名誉指揮者に就任。オペラ指揮者としての経験は豊かで二期会21、関西二期会、錦織健プロデュースオペラ、佐藤しのぶ「夕鶴」公演等、歌手からの信頼も厚い。NHKのFM「シンフォニー・コンサート」のパーソナリティを長年務める等バラエティに富んだ活動を行なっている。2023年からは東京芸術大学指揮科客員教授として後進の指導にもあたっている。



ホルン 吉田 智就 Tomonari Yoshida, Horn

4歳よりピアノ、9歳よりホルンを始める。東京音楽大学付属高等学校卒業、東京音楽大学を給費奨学生として卒業。第20回東京音楽コンクール金管部門第1位。第89回日本音楽コンクールホルン部門入選、第38回日本管打楽器コンクールホルン部門第1位。ソリストとして東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、千葉交響楽団と共演。2019年千葉県少年少女オーケストラ団員として、テレビ朝日「題名のない音楽会」・サントリーホールでの東京公演に出演。これまでにホルンを吉永雅人、福川伸陽の各氏に師事。現在、東京音楽大学大学院科目等履修生として在籍。また、プロオーケストラの演奏会に参加する傍らアンサンブルにも精力的に取り組んでいる。

演奏 東京音楽大学 シンフォニー オーケストラ Tokyo College of Music Symphony Orchestra

長い歴史に培われた伝統ある東京音楽大学シンフォニーオーケストラは、国内はもとより海外での演奏も積極的に行っている。国内に於いては、東京芸術劇場で毎年「定期演奏会」を行っている他、地方都市で開催される演奏会にも出演している。海外でも、これまでにアメリカ、中国、オーストリア、オランダ、ハンガリー、チェコ、ドイツなど延べ30都市以上で公演を行い、大成功を収めている。また、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン、癒しの森コンサート（長野県信濃町）、音楽大学オーケストラ・フェスティバルのほか、第21回別府アルゲリッチ音楽祭にも出演し、好評を得た。2023年度は音楽大学オーケストラ・フェスティバル、定期演奏会に出演する。

東京音楽大学主催演奏会 運営について

東京音楽大学主催演奏会では、新型コロナウイルスの感染防止のための対策を講じて、お客様に安心して公演をご鑑賞いただけるよう努めております。右記QRコードで東京音楽大学HPの「東京音楽大学主催演奏会の運営について」を必ずご確認くださいの上、ご来場ください。なお、体調不良が見受けられる場合は、入場をお断りする場合がございます。予め、ご了承ください。



演奏会での標準的なSDGsの取組

東京音楽大学は「東京音楽大学環境方針」を踏まえ、「音楽と社会をつなげる」をミッションに、学生・教職員が一体となって、地域社会・事業者等との連携により、SDGsに積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献することとしました。各々の演奏会では、学生・教職員は、標準としてSDGsが掲げる17の目標のうち、次の6つを意識し、音楽が持つ特性を十分に発揮し、素晴らしい感動と未来への夢などを提供することを目指すこととします。



3. すべての人に健康と福祉を

演奏会は、心に安らぎや、活力を与えてくれます。

4. 質の高い教育をみんなに

演奏会は、生涯学習の一端を担います。

10. 人や国の不平等をなくそう

演奏曲は、その曲の作者やその時代背景などからその国や人を理解するきっかけをつくり、不平等をなくす営みを促します。

11. 住み続けられるまちづくり

演奏会は、鑑賞していただく周辺地域の方々と共に創り上げて行くものです。本学では、この姿勢をまちづくりに展開することを目指し、エリアマネジメントの取組を進めております。

16. 平和と公正をすべての人に

演奏会は、分け隔てなく参加することができます。この精神をみなさんにお伝えし、平和と公正を促して行くことが責務と考えています。

17. パートナリシップで目標を達成しよう

演奏会には、大勢の人との協力が不可欠です。この姿勢は様々な目標を成就させるための重要な要素です。本学は、演奏会参加者が、この姿勢をより深め、持続可能な社会の実現に貢献できる人材育成に寄与します。